

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公表番号】特表2014-516165(P2014-516165A)

【公表日】平成26年7月7日(2014.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-036

【出願番号】特願2014-514495(P2014-514495)

【国際特許分類】

G 0 1 N 27/22 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 27/22 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月29日(2015.5.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

湿度センサ素子であって、

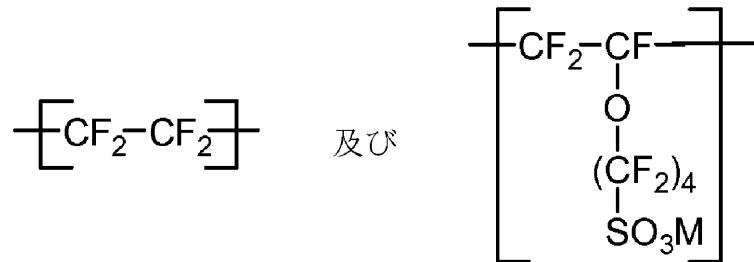
誘電性基板と、

第1の導電性部材が電気的に接続された無孔質導電性電極であって、前記無孔質導電性電極が前記誘電性基板上に配置されている、無孔質導電性電極と、

第2の導電性部材が電気的に接続された透過導電性電極であって、前記透過導電性電極が、4~10ナノメートルの範囲の厚さを有し、前記透過導電性電極が、前記無孔質導電性電極と平行であり、前記透過導電性電極が水蒸気に対して透過性である、透過導電性電極と、

前記無孔質導電性電極と前記透過導電性電極との間に挟まれた検出層であって、前記検出層が、

【化1】



(式中、Mは、H又はアルカリ金属を表す)を含む単量体単位を有する共重合体を含む、検出層と、

を備える、湿度センサ素子。

【請求項2】

湿度センサであって、

入口開口部を有するセンサ室と、

静電容量を有する、請求項1に記載の湿度センサ素子であって、前記湿度センサ素子が、前記入口開口部と流体連通している前記センサ室内に配置される、湿度センサ素子と、

前記湿度センサ素子の第1及び第2の導電性リードと電気的に接続している操作回路であって、これによって、前記湿度センサ素子が電源に接続されると、前記操作回路が、前記センサ素子の静電容量を測定する、前記操作回路と、
を備える、湿度センサ。